

国府地域包括支援センター 担当

日 時： 令和7年7月15日（火）午後1時30分～1時50分

会 場： 栃木市役所 401 会議室

事例数： 1ケース（R7年1月21日検討した事例の振り返り）

参加者数： 11名

〔事例提供者1名、助言者7名、包括職員2名、傍聴者1名〕

**骨折後、転倒への不安から活動量が低下し、
閉じこもり生活となった92歳の独居男性**

〈目標〉1日:1日1回散歩できる

1年:不安なく歩行することができる

利用サービス：通所介護独自サービス（従前）・介護予防福祉用具貸与

《前回会議での支援策》

- 支援方針：・食へのこだわりが強いことがプラスとなって調理すること続けられ、自立につながっている。今後も活動が継続できるよう支援する。
- ・運動を促し下肢筋力を維持していく。転倒予防を図る。

助言内容：

- ① 血圧低下は活動性の低下につながりやすい。医師に相談しコントロールしていく。
- ② 水分を摂取し脱水を予防することで、血栓症の予防を図る。
- ③ 口腔ケアを継続して歯肉炎の予防・悪化防止を図り、残存歯32本を保つ。
- ④ 自身でできる機能を維持していく。調理・買い物を継続する。

《支援結果・状況》

- ① 達成：薬を適切に飲める工夫を行い、血圧が120/70mmhgと正常範囲内に落ち着いた。
- ② 達成：水分摂取を促し、血栓の予防は図れた。
- ③ 達成：歯科受診は継続し、残存歯32本を保つことができている。
- ④ 未達成：調理や買い物等継続できるよう声かけや環境調整したが、活動量が低下し継続することができなかった。
- ⑤ 達成：水分摂取や浮腫の状況等を確認、身体の変化を評価し、足の挙上や動かす等対策を図れた。